

○北海道における林業労働災害の現況

造林や伐採などの森林作業は屋外での作業のため、天候の影響を受けやすく、さらに傾斜地等の足場の悪い場所で伐採物等の重量物を扱う作業が多いことなどから、労働災害の発生頻度は他産業に比べて著しく高い状況にあります。

死亡災害については、平成29年は道内で5件発生し、都道府県別では宮崎県とともに最も多い発生件数となりました。

1 平成29年の林業労働災害

平成29年の林業労働災害は、休業4日以上 of 休業災害が94件と前年と比べ26件減少し、死亡災害は前年と同じ5件となりました。

	平成29年	平成28年	対前年
死亡者	5	5	± 0
休業(4日以上)	94	120	-26
死傷者の計	99	125	-26

※ 資料:「労働災害発生状況」(北海道労働局)

2 業種別死傷年千人率の推移(死亡及び休業4日以上)

林業における労働災害の発生頻度は、全産業の中で最も高い状況にあります。

	全産業	林業	鉱業	建設業	製造業	運輸業	その他の産業
平成25年	3.1	25.7	11.2	5.4	6.1	9.3	2.0
平成26年	3.1	26.3	12.2	5.4	5.8	8.2	2.0
平成27年	3.0	22.4	11.2	5.3	5.9	7.2	2.0
平成28年	3.0	27.4	7.0	4.8	6.1	7.6	2.0
平成29年	3.0	21.7	10.3	4.7	6.0	8.0	2.0

※ 死傷年千人率:労働者千人あたり1年間に発生する死傷者数

※ 資料:「平成30年労働災害発生の動向」(北海道労働局)

3 林業労働災害 (平成20年～平成29年)

死傷者数は近年、120件前後で推移してきましたが、平成29年は100件を切りました。

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
死亡	8	1	11	5	4	4	4	4	5	5
休業4日以上	149	157	147	120	125	112	116	98	120	94
死傷計	157	158	158	125	129	116	120	102	125	99

資料:「労働災害発生状況」(北海道労働局)

4 月別死亡災害発生状況(平成20年～平成29年)

月別では、除間伐、主伐を行う夏以降から多くなっています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
死亡災害	3	4	7	4	5	3	2	4	5	3	7	4

5 経験年数別死亡災害発生状況(平成20年～平成29年)

経験年数では、10年前後が多く、40年以上の熟練者も多くなっています。

	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上35年未満	35年以上40年未満	40年以上
死亡災害	5	5	8	10	2	5	2	6	2	6

6 年齢別死亡者数(平成20年～平成29年)

60歳以上が31人で、全体の約6割となっています。

	20歳未満	20歳以上30歳未満	30歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上60歳未満	60歳以上70歳未満	70歳以上
死亡災害	0	0	2	3	15	23	8